

学校長（中学校）への質問紙

この調査は、学習に困難を示す生徒に焦点が当てられています。その中には、学習障害（LD）といわれる生徒も含まれます。以下、このような生徒を「学習障害のある生徒」と言うことにします。

1. 学校の規模と人員

1.1. いくつの学級（教室）がありますか？
通常学級 _____ 通級指導教室 _____ 特殊学級 _____ 合計 _____

1.2. 何人の生徒がいますか？
通常学級 _____ 通級指導教室 _____ 特殊学級 _____ 合計 _____

1.3. 生徒の学年は _____ 年生から _____ 年生

1.4. 生徒の民族の分布はどの様ですか？

日本人	_____ %
日本人以外のアジア系	_____ %
白人	_____ %
黒人	_____ %
ヒスパニック	_____ %
その他（ _____ ）	_____ %
合計	100 %

1.5. 教員数は何人ですか？

通常の学級（ホームルーム）を持ち、教科を教えている教師	_____ 人
通常の学級（ホームルーム）を持たず、教科を教えている教師	_____ 人
巡回教師	_____ 人
通級指導教室の教師	_____ 人
特殊学級の教師	_____ 人
その他（ _____ ）	_____ 人
合計	_____ 人

1.6. 他の職員はいますか？（はい、いいえ）

もし、「はい」なら、それは誰ですか？

該当する（ ）をチェックし、常（常勤）か非（非常勤）を○で囲んで下さい。

（ ）学級の補助教師	（ 常、非 ）
（ ）保健室の教師／看護婦	（ 常、非 ）
（ ）医者（校医）	（ 常、非 ）
（ ）心理学者／スクールサイコロジスト	（ 常、非 ）
（ ）大学教授／研究者	（ 常、非 ）
（ ）ボランティア	（ 常、非 ）
（ ）親	（ 常、非 ）
（ ）その他	（ 常、非 ）

2. インクルージョンに関する学校の方針

※インクルージョン (inclusion) とは、障害があつたり特別な配慮が必要であつたりする生徒を、通常学級の場で必要なサポートをしながら指導を行うこと、とします。(詳しくは、国連決議 (1993)、サマランカ宣言 (1994) などを参照)

2.1. インクルージョンという教育の理念を知っていますか？ (はい、いいえ)

「はい」なら次の 2.2. へ、「いいえ」なら 2.3. へ進んで下さい。

資料：アンケート用紙

- 2.2. 学習障害のある生徒のインクルージョンについての学校方針はどのようですか？
 該当する()をチェックして下さい。
 フルインクルージョン(通常学級のみで指導)
 部分的インクルージョン(通常学級に在籍しながら通級指導教室などを活用)
 分離プログラム(特殊学級のみ)
 分離プログラムだが交流教育を行う(部分的に通常学級で指導)

インクルージョンについての学校方針は何によりますか？

- 校長の考え
 生徒のニーズ
 親の希望
 教師の考え
 教師の指導力
 その他()

- 2.3. 何人の学習障害のある生徒が、個別の指導計画のもとで指導を受けていますか？ _____人
 それは、学習障害のある生徒の内の何%に当たりますか？ _____%
 2.4. 何人の学習障害のある生徒が、通常の学級にいますか？ _____人
 2.5. 通常の学級にいる何人の生徒が通級指導教室を利用していますか？ _____人
 2.6. 何人の学習障害のある生徒が特殊学級にいますか？ _____人

3. 特殊教育のサービス

- 3.1. 学習障害のある生徒が指導を受けられる通級指導教室がありますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、
 いくつありますか？ _____
 何人の生徒が通級指導室を利用していますか？ _____人
 通級指導教室には他の職員がいますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、それは誰ですか？
 該当する()をチェックし、常(常勤)か非(非常勤)を○で囲んで下さい。
 学級の補助教師 (常、非)
 特殊学級の教師 (常、非)
 心理学者/スクールサイコロジスト (常、非)
 親 (常、非)
 ボランティア (常、非)
 その他 (常、非)

- 3.2. 学習障害のある生徒が指導を受けられる特殊学級がありますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、
 いくつありますか？ _____
 何人の生徒が特殊学級を利用していますか？ _____人
 特殊学級には他の職員がいますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、それは誰ですか？
 該当する()をチェックし、常(常勤)か非(非常勤)を○で囲んで下さい。
 学級の補助教師 (常、非)
 通級指導教室の教師 (常、非)
 心理学者/スクールサイコロジスト (常、非)
 親 (常、非)
 ボランティア (常、非)
 その他 (常、非)

- 3.3. 学習障害のある生徒のための移行教育プログラムはありますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、何に向けての移行教育プログラムですか？
 該当する()をチェックして下さい。
 通常学級に向けて
 通級指導教室に向けて
 高校に向けて
 専門学校に向けて
 他のタイプの学校に向けて
 働くこと(就労)に向けて
 その他()

その内容は何かですか？

- 社会的スキルの訓練プログラム
 日常生活スキルの訓練プログラム
 余暇/レジャーのプログラム
 職業訓練プログラム
 障害のある生徒のためのプログラム
 特殊学級に在籍する生徒のためのプログラム
 その他()

- 3.4. 他の特殊教育サービスはありますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、それは何かですか？
 該当する()をチェックし、常(常勤)か非(非常勤)を○で囲んで下さい。
 言語治療の専門家(言語療法士/言語治療士等) (常、非)
 作業療法士 (常、非)
 生徒のためのカウンセリング (常、非)
 職業訓練 (常、非)
 作業学習 (常、非)
 家庭のサポート (常、非)
 その他() (常、非)

3.5. 学習障害のある生徒の昨年の進路はどのようでしたか？

進学	_____%	高校	_____%
		専門学校	_____%
		学習障害のある生徒のための学校	_____%
		通信教育	_____%
		他のタイプの学校	_____%
就労	_____%	ビジネス	_____%
		サービス	_____%
		製造	_____%
		看護(福祉)	_____%
		教育	_____%
		農業/漁業	_____%
		その他()	_____%
その他()	_____%		
合計	100%	合計	100%

3.6. 校内に通常の教育に関する現職教育はありますか？ (はい、いいえ)

- 3.7. 校内に特殊教育に関する現職教育はありますか？ (はい、いいえ)
 もし、「はい」なら、その講師は誰ですか？
 校長
 通常学級の教師
 通級教室の教師
 特殊学級の教師
 保健室の教師(養護教諭)
 スクールサイコロジスト
 校内の他の職員(職種:)
 校外の人(専門家等)(職種:)

4. 学校周辺のリソース

4.1. 学習障害のある生徒が利用できる施設にはどのようなものがありますか？
該当する()をチェックして下さい。

- () 別の学校
- () 社会教育センター
- () コミュニティセンター
- () 生涯学習センター
- () スイミングプール
- () 鉄道駅
- () バス停
- () スポーツグラウンド
- () 美術館/博物館/音楽ホール
- () 農場/牧場
- () 公園
- () 大学/短期大学

4.2. 特殊教育に関するリソースにはどのようなものがありますか？

- () 特殊教育センター
- () 教育センター
- () トレーニングセンター/訓練室
- () カウンセリングセンター/相談室
- () 学習障害のある生徒のための学校
- () 養護学校
- () 大学
- () 短期大学
- () 病院
- () 他の特徴的な施設

5. 学習障害のある生徒へのサポートについて今後求められること
中学校段階で学習障害のある生徒へのサポートについて、今後、日本でどのようなことが求められると考えますか？
特に求められると思うものを5つ選んで下さい。

- () 授業の工夫
- () 教材・教具の工夫
- () チームティーチングの導入や拡充
- () 個別の指導計画の作成
- () 特殊教育についてより専門的な知識を持った教員の配置
- () 通級指導教室の拡充と充実
- () 特殊学級の拡充と充実
- () 校内での相談機能の充実
- () 人事交流 (特殊教育の教員と通常の教育の教員間)
- () スクールカウンセラーの拡充や充実
- () 校内での支援体制の確立や充実
- () 研修の充実 (通常学級の教員向け)
- () 研修の充実 (管理職向け)
- () 小中学校の通級指導教室や特殊学級との連携
- () 盲・聾・養護学校との連携
- () 教育センターや特殊教育センターとの連携
- () 大学等の専門機関との連携
- () 民間の教育機関との連携
- () 保護者との連携
- () その他

6. その他に必要なと思われる情報がありましたらお書き下さい。

ご回答いただき、ありがとうございました。

1. 学校の規模と人員

1.1. いくつの学級(教室)がありますか？

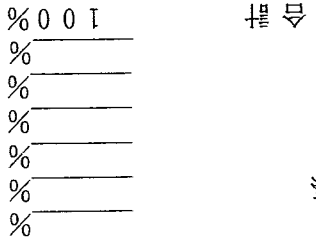
通常学級 _____ 通級指導教室 _____ 特殊学級 _____ 合計 _____

1.2. 何人の生徒がいますか？

通常学級 _____ 通級指導教室 _____ 特殊学級 _____ 合計 _____

1.3. 生徒の学年は _____ 年から _____ 年生

1.4. 生徒の民族の分布はどの様ですか？



1.5. 教員数は何人ですか？

- 通常学級の学級(ホームルーム)を持ち、教科を教えている教師 _____ 人
- 通常学級の学級(ホームルーム)を持たず、教科を教えている教師 _____ 人
- 巡回教師 _____ 人
- 通級指導教室の教師 _____ 人
- 特殊学級の教師 _____ 人
- その他 () _____ 人

合計 _____ 人

校内に、特殊教育を担当する公務分掌がありますか？

(はい、いいえ)

1.6. 他の職員はいますか？ (はい、いいえ)

- 該当する()をチェックし、常(常勤)か非(非常勤)を○で囲んで下さい。
- () 学級の補助教師 () 保健室の教師/看護婦
- () 医者(校医)
- () 心理学者/スクールカウンセラー
- () 大学教授/研究者
- () ホラント
- () 親
- () その他

2. インクルージョンに関する学校の方針

※インクルージョン(inclusion)とは、障害があったり特別な配慮が必要であったりする生徒を、通常学級の場で必要なサポートをしながら指導を行うこと、とします。(詳しくは、国連決議(1993)、サマソカ宣言(1994)などを参照)

2.1. インクルージョンという教育の理念を知っていますか？

(はい、いいえ)

「はい」なら次の2.2へ、「いいえ」なら2.3へ進んで下さい。

2.2. 学習障害のある生徒のインクルージョンについての学校方針はどのようなですか？

- 該当する () をチェックして下さい。
- () フルインクルージョン (通常学級のみで指導)
- () 部分的インクルージョン (通常学級に在籍しながら通級指導教室などを活用)
- () 分離プログラム (特殊学級のみ)
- () 分離プログラムだが交流教育を行う (部分的に通常学級で指導)

インクルージョンについての学校方針は何によりですか？

- () 校長の考え
- () 生徒のニーズ
- () 親の希望
- () 教師の考え
- () 教師の指導力
- () その他 ()

2.3. 何人の学習障害のある生徒が、個別の指導計画のもとで指導を受けていますか？

_____人

それは、学習障害のある生徒の内何%に当たりますか？

_____%

2.4. 何人の学習障害のある生徒が、通常の学級にいますか？

_____人

2.5. 通常の学級にいる何人の生徒が通級指導教室を利用していますか？

_____人

2.6. 何人の学習障害のある生徒が特殊学級にいますか？

_____人

3. 特殊教育のサービス

3.1. 学習障害のある生徒が指導を受けられる通級指導教室がありますか？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、いくつありますか？

_____人

何人の生徒が通級指導教室を利用していますか？

(はい、いいえ)

通級指導教室には他の職員がいますか？

(はい、いいえ)

該当する () をチェックし、常 (常勤) か非 (非常勤) を○で囲んで下さい。

- () 学級の補助教師
- () 特殊学級の教師
- () 心理学者/スクールカウンセリスト
- () 親
- () ホラシナイア
- () その他

3.2. 学習障害のある生徒が指導を受けられる特殊学級がありますか？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、いくつありますか？

_____人

何人の生徒が特殊学級を利用していますか？

(はい、いいえ)

特殊学級には他の職員がいますか？

(はい、いいえ)

該当する () をチェックし、常 (常勤) か非 (非常勤) を○で囲んで下さい。

- () 学級の補助教師
- () 通級指導教室の教師
- () 心理学者/スクールカウンセリスト
- () 親
- () ホラシナイア
- () その他

3.3. 学習障害のある生徒のための移行教育プログラムがありますか？

もし、「はい」なら、何に向けての移行教育プログラムですか？

該当する () をチェックして下さい。

- () 通常学級に向けて
- () 通級指導教室に向けて
- () 高校に向けて
- () 専門学校に向けて
- () 他のタイフの学校に向けて
- () 働くこと (就労) に向けて
- () その他 ()

その内容は何か？

- () 社会的スキルの訓練プログラム
- () 日常生活スキルの訓練プログラム
- () 余暇/レジャープログラム
- () 職業訓練プログラム
- () 障害のある生徒のためのプログラム
- () 特殊学級に在籍する生徒のためのプログラム
- () その他 ()

3.4. 他の特殊教育サービスがありますか？

もし、「はい」なら、それは何か？

該当する () をチェックし、常 (常勤) か非 (非常勤) を○で囲んで下さい。

- () 言語治療の専門家 (言語療法士/言語治療士等)
- () 作業療法士
- () 生徒のためのカウンセリフ
- () 職業訓練
- () 作業学習
- () 家庭のサポート
- () その他 ()

3.5. 学習障害のある生徒の昨年の進路はどのようなでしたか？

進学 _____%

- () 大学
- () 短期大学
- () 専門学校
- () 学習障害のある生徒のための学校
- () 通信教育
- () 他のタイフの学校
- () ビジネス
- () サービス
- () 製造
- () 看護 (福祉)
- () 教育
- () 農業/漁業
- () その他 ()

合計 100%

3.6. 校内に通常の教育に関する現職教育がありますか？

(はい、いいえ)

3.7. 校内に特殊教育に関する現職教育がありますか？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、その講師は誰ですか？

- () 校長
- () 通常学級の教師
- () 通級指導教室の教師
- () 特殊学級の教師
- () 保健室の教師 (養護教諭)
- () スクールカウンセリスト
- () 校内の他の職員 (職種:)
- () 校外の人 (専門家等) (職種:)

通常の学級の教員(中学校)への質問紙

この調査は、学習に困難を示す生徒に焦点が当てられています。その中には、学習障害(LD)といわれる生徒も含まれます。以下、このような生徒を「学習障害のある生徒」と言うことにします。

1. 教員

1.1. どの教科を教えますか？

該当する()をチェックして下さい。

- () 国語系 () 美術 () コンピュータ
- () 理科系 () 音楽 () 職業教育
- () 社会科系 () 技術家庭科 () 特殊教育(通級指導教室・特殊学級)
- () その他 ()

1.2. その教室あるいは学級での学習指導以外の仕事は何ですか？

- () 通常学級での学習指導 () カリキュラムの作成・管理など
- () 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施
- () 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施
- () 外国人・バイリンガル教育の担当 () 職業教育・移行教育の担当
- () レクリエーション・課外活動・校外活動 () 事務
- () 経理 () 安全管理
- () その他 () なし

1.3. これまでにどの種類の学級で教えましたか？

- () 通常の学級 () 巡回教師 () 特殊学級
- () 学習障害のある生徒を含む通常の学級 () その他 ()

1.4. これまでに通常の教育に関する現職教育を受けましたか？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、その内容は何か？
該当する()をチェックし、内(校内)か外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

- () 教育哲学 () 指導 () 学級経営
- () 将来の進学や就労に向けての教育 () 他の教師との協力 () 他専門家(スクールカウンセラーなど)との協力
- () 生徒や青年期の心理 () 生徒や青年期の医学 () その他 ()

<実習>

- () 教材の作成 () 指導 () 教材の作成
- () アセスメント・評価 () 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施
- () 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施 () カウンセリング () その他 ()

4.1. 学習障害のある生徒が利用できるような施設にはどのようなものがありますか？
該当する()をチェックして下さい。

- () 別の学校 () 病院 () 社会教育センター () 大型ショッピングセンター
- () コミュニティセンター () 生涯学習センター () レストラン
- () スイミングプール () 銀行 () 鉄道駅 () パス停
- () スポーツグラウンド () 美術館/博物館/音楽ホール () 農場/牧場
- () 公園 () 他の特徴的な施設 ()

4.2. 特殊教育に関するリソースにはどんなものがありますか？

- () 特殊教育センター () 教育センター () トレーニングセンター/訓練室
- () カウンセリングセンター/相談室 () 学習障害のある生徒のための学校 () 養護学校 () 短期大学 () 病院 () 他の特徴的な施設 ()

5. 学習障害のある生徒へのサポートについて今後求められること

高校段階で学習障害のある生徒へのサポートについて、今後、日本でどのようなことが求められると考えますか？
特に求められると思うものを5つ選んで下さい。

- () 授業の工夫 () 教材・教員の工夫 () 授業の工夫
- () チームティーチングの導入や補充 () 個別の指導計画の作成 () 特殊教育についてより専門的な知識を持った教員の配置
- () 通級指導教室の設置 () 特殊学級の設置 () 校内での相談機能の充実 () 校内での支援体制の確立 () 研修の充実(通常学級の教員向け) () 研修の充実(管理職向け) () 小中学校の通級指導教室や特殊学級との連携 () 盲・聾・養護学校との連携 () 教育センターや特殊教育センターとの連携 () 大学等の専門機関との連携 () 民間の教育機関との連携 () 保護者との連携 () その他 ()

6. その他に必要なと思われる情報がありましたらお書き下さい。

ご回答いただき、ありがとうございました。

1.5. 昨年度、通常の教育に関する現職教育を受けましたか？

該当する()をチェックし、内(校内) 外(校外) を○で囲んで下さい。

<講義>

() 教育哲学

() 指導

() 学級経営

() 将来の進学や就労に向けての教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 親との協力

() 生徒や青年期の心理

() 生徒や青年期の医学

() その他()

<実習>

() 指導

() 教材の作成

() アセスメント・評価

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() カウンセリング

() その他()

1.6. これまでに特殊教育に関する現職教育を受けましたか？

該当する()をチェックし、内(校内) 外(校外) を○で囲んで下さい。

<講義>

() 特殊教育の哲学

() 障害のある生徒の指導

() 障害のある生徒を含む学級の経営

() 障害のある生徒の移行教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 親との協力

() 障害の心理

() 障害の医学

() その他()

<実習>

() 障害のある生徒の指導

() 教材の作成

() 障害のある生徒のアセスメント・評価

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() カウンセリング

() その他()

1.7. 昨年度、特殊教育に関する現職教育を受けましたか？

該当する()をチェックし、内(校内) 外(校外) を○で囲んで下さい。

<講義>

() 特殊教育の哲学

() 障害のある生徒の指導

() 障害のある生徒を含む学級の経営

() 障害のある生徒の移行教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 親との協力

() 障害の心理

() 障害の医学

() その他()

2. 学 級

2.1. 担当学年は何ですか？

_____ 年生

2.2. 生徒は何人ですか？

_____ 人

2.3. 学級の教師の数は何人ですか？

常勤の教師 _____ 人
非常勤の教師 _____ 人

2.4. 学級には他の人(教師など)がいますか(月単位で)？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、その内容は何か？

該当する()をチェックし、常(常勤) 非(非常勤) を○で囲んで下さい。

() 別の教師

() スクールカウンセラー

() スクールカウンセラー

() 指導に関わるボランティア

() 他の仕事に関するボランティア

() 指導のサポートのための親

() 他の仕事のための親

() その他()

2.5. 学級には学習障害のある生徒がいますか？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、

そのような生徒は何人いますか？

_____ 人

そのための特別な教育(特殊教育)は何ですか？

() 読む () 数学

() 移行(進学・就職・進路)

() 行動・情緒

() その他()

2.6. 学級には将来に向けての教育プログラムがありますか？

(はい、いいえ)

もし、「はい」なら、それは何に向けてのプログラムですか？

() 普通高校に向けて () 他のタイアの学校に向けて

() 職業高校・職業学校に向けて () 仕事に向けて

() その他()

その内容は何かですか？ そして、内(校内) 外(校外) を○を付けて下さい。

() 社会的スキルトレーニング

() 日常生活スキルトレーニング

() レクリエーション・余暇プログラム

() 職業訓練プログラム

() 労働プログラム

() その他()

(はい、いいえ)

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

3. サポート

3.1. 学習障害のある生徒は校内で特別な援助を受けていますか？

- 教師から (通常の学級)
- 友達から (通常の学級)
- 教師から (通級指導教室)
- 友達から (通級指導教室)
- 教師から (特殊学級)
- 友達から (特殊学級)
- 巡回教師から
- 校長から
- 保健室の看護教師から

3.2. 学習障害のある生徒は地域で特別な援助を受けていますか？

- 訓練センター・訓練プログラムから
- カウンセリングセンターから
- 大学のカウンセリング・訓練などから
- その他のリソースから
- なし

3.3. あなたは校内でどのようなサポートを受けていますか？

- 通常の学級の教師から
- 通級の学級の教師から
- 通級指導教室の教師から
- スクールカウンセラから
- その他の人から
- なし

<あなたの学校で>

- 他の中学校から
- 盲学校・聾学校・養護学校から
- 高校から
- 小学校から
- 幼稚園や保育園から

3.4. あなたは校外でどのようなサポートを受けていますか？

- 市や区の教育委員会から (例：現職教育)
- 都道府県の教育委員会から (例：現職教育)
- 教員組合から
- 学術学会から (例：日本特殊教育学会、日本学習障害学会等)
- 特殊教育センターや教育センターの特殊教育部から
- 大学や研究機関から
- 病院から
- その他の機関や専門家から
- なし

3.5. 学習障害のある生徒の家族は校内でどのようなサポートを受けていますか？

- 教師との相談 (通常の学級)
- 保健室の教師との相談
- 教師との相談 (通級指導教室)
- スクールカウンセラとの相談
- 教師との相談 (特殊学級)
- 教師との相談 (その他の人との相談)
- なし
- 巡回教師との相談
- 校長との相談

3.6. 学習障害のある生徒の家族は校外でどのようなサポートを受けていますか？

- 他家族から
- 大学の専門家から (教育・心理学)
- 大学の専門家から (医学)
- 病院の医師や専門家から
- 特殊教育センターや教育センターの特殊教育部から
- 地域のその他のリソースから
- なし

4. 家族

4.1. 学習障害のある生徒に対する家族の目標を知っていますか？

- 学校生活を楽しむ
- たくさん友達を作る
- 教科学習を進める
- 社会的スキルを身に付ける
- 日常生活スキルを身に付ける
- レクリエーションや余暇のスキルを身に付ける
- その他

4.2. 学習障害のある生徒の将来の進路の目標を知っていますか？

- 職業教育プログラムを学習する
- 労働に関する学習をする
- たくさん友達を作る
- 教科学習を進める
- 社会的スキルを身に付ける
- 日常生活スキルを身に付ける
- レクリエーションや余暇のスキルを身に付ける
- その他

5. 指導

5.1. 学習障害のある生徒を指導することに困難を感じますか？

- はい、いいえ
- なし
- 特別なカリキュラムの作成
- 教科指導
- コミュニケーションスキルの指導
- 問題行動に関する指導
- 社会的スキルの指導
- 日常生活スキルの指導
- レクリエーションや余暇のスキルの指導
- 職業教育
- 労働に関する指導
- 特別な教材を用意したり作ったりすること
- 学級経営
- 評価
- 通常学級の教師との連携
- 通級指導教室の教師との連携
- 特殊学級教師との連携
- 他の専門家との連携 (スクールカウンセラ、大学の専門家)
- 親との話し合い
- その他

5.2. 学習障害のある生徒への指導は楽しいですか？

- はい、いいえ
- その理由を書いて下さい

6. その他に必要なと思われる情報がありましたらお書き下さい。

で回答いただき、ありがとうございました。

通常の学級の教員(高校)への質問紙

この調査は、学習に困難を示す生徒に焦点が当てられています。その中には、学習障害(LD)といわれる生徒も含まれます。以下、このような生徒を「学習障害のある生徒」と言うことにします。

1. 教員

1.1. どの教科を教えますか？

該当する()をチェックして下さい。

- () 国語系
- () 英語系
- () コピュータ
- () 音楽
- () 職業教育
- () 労働に関する学習
- () 社会科系
- () 技術家庭科
- () 特殊教育(通級指導教室・特殊学級)
- () その他()

1.2. その教室あるいは学級での学習指導以外の仕事は何ですか？

- () 通常学級での学習指導
- () カリキュラムの作成・管理など
- () 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施
- () 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施
- () 外国人・バイリンガル教育の担当
- () リクレーション・課外活動・校外活動
- () 経理
- () その他()

1.3. これまでにどの種類の学級で教えましたか？

- () 通常の学級
- () 特殊学級
- () 巡回教師
- () 通級指導教室
- () その他()

1.4. これまでに通常の教育に関する現職教育を受けましたか？

もし、「はい」なら、その内容は何か？

該当する()をチェックし、内(校内)か外(校外)を○で囲んで下さい。

() 教育哲学

<講義>

() 指導

() 学級経営

() 将来の進学や就労に向けての教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 生徒や青年期の心理

() 生徒や青年期の医学

() その他()

<実習>

() 指導

() 教材の作成

() アセスメント・評価

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() カウンセリング

() その他()

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

1.5. 昨年度、通常の教育に関する現職教育を受けましたか？

もし、「はい」なら、その内容は何か？

該当する()をチェックし、内(校内)か外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

() 教育哲学

() 指導

() 学級経営

() 将来の進学や就労に向けての教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 生徒や青年期の心理

() 生徒や青年期の医学

() その他()

<実習>

() 指導

() 教材の作成

() アセスメント・評価

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() カウンセリング

() その他()

1.6. これまでに特殊教育に関する現職教育を受けましたか？

もし、「はい」なら、その内容は何か？

該当する()をチェックし、内(校内)か外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

() 特殊教育の哲学

() 障害のある生徒の指導

() 障害のある生徒を含む学級の経営

() 障害のある生徒の移行教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 親との協力

() 障害の心理

() 障害の医学

() その他()

<実習>

() 障害のある生徒の指導

() 教材の作成

() 障害のある生徒のアセスメント・評価

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() カウンセリング

() その他()

1.7. 昨年度、特殊教育に関する現職教育を受けましたか？

もし、「はい」なら、その内容は何か？

該当する()をチェックし、内(校内)か外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

() 特殊教育の哲学

() 障害のある生徒の指導

() 障害のある生徒を含む学級の経営

() 障害のある生徒の移行教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 親との協力

() 障害の心理

() 障害の医学

() その他()

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

() 内、外

2. 学 級

- 障害のある生徒の指導
- 教材の作成
- 障害のある生徒のテスト・評価
- 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施
- 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施
- カウンセリング
- その他

2.1. 担当学年は何ですか？ _____ 年生

2.2. 生徒は何人ですか？ _____ 人

2.3. 学級の教師の数は何人ですか？ 常勤の教師 _____ 人 非常勤の教師 _____ 人

2.4. 学級には他の人(教師など)がいますか(月単位で)？
もし、「はい」なら、その内容は何か？
(はい、いいえ)

- 別の教師
- スカールカウンセラー
- スカールサロジスト
- 指導に関わるボランティア
- 他の仕事に関するボランティア
- 指導のサポートのための親
- 他の仕事のための親
- その他

2.5. 学級には学習障害のある生徒がいますか？
もし、「はい」なら、
そのような生徒は何人いますか？ _____ 人
(はい、いいえ)

- 読む
- 書く
- 話し
- 聞く
- 数学
- 日常生活スキル
- 移行(進学・就職・進路)
- 他教科
- 行動・情緒
- 社会的スキル
- その他

2.6. 学級には将来に向けての教育プログラムがありますか？
もし、「はい」なら、それは何に向けてのプログラムですか？
(はい、いいえ)

- 大学
- 短期大学に向けて
- 専門学校に向けて
- その他

その内容は何か？ そして、内(校内)か外(校外)に○を付けて下さい。

- 社会的スキルトレーニング
- 日常生活スキルトレーニング
- 職業訓練プログラム
- レクリエーション・余暇プログラム
- 労働プログラム
- その他

3. サポート

3.1. 学習障害のある生徒は校内で特別な援助を受けていますか？

- 教師から(通常の学級)
- スカールサロジストから
- その他の人から
- 友達から(通常の学級)
- 特別に用意されたカリキュラムから
- 教科学習や行動面に関する個別の教育計画
- 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画
- 友達から(通級指導教室)
- 特別に用意された教材から
- 友達から(特殊学級)
- 巡回教師から
- 校長から
- 保健室の看護教師から
- その他

3.2. 学習障害のある生徒は地域で特別な援助を受けていますか？

- 訓練センター・訓練プログラムから
- 大学(カウンセリング・訓練など)から
- その他(サマーキャンプなど)から
- その他

3.3. あなたは校内でどのようなサポートを受けていますか？

- <あなたの学校で>
- 通常の学級の教師から
 - 通級指導教室の教師から
 - スカールサロジストから
 - 特殊学級の教師から
 - 巡回教師から
 - 校長から
- <他の学校で>
- 他の高校から
 - 盲学校・聾学校・養護学校から
 - 中学校から
 - 小学校から
 - 幼稚園や保育園から
 - なし

3.4. あなたは校外でどのようなサポートを受けていますか？

- 市や区の教育委員会から(例：現職教育)
- 都道府県の教育委員会から(例：現職教育)
- 教員組合から
- 学会から(例：日本特殊教育学会、日本学習障害学会等)
- 特殊教育センターや教育センターの特殊教育部から
- 大学や研究機関から
- 病院から
- その他の機関や専門家から
- なし

3.5. 学習障害のある生徒の家族は校内でどのようなサポートを受けていますか？

- 保健室の教師との相談
- スカールサロジストとの相談
- 教師との相談(通常の学級)
- 教師との相談(通級指導教室)
- 教師との相談(特殊学級)
- 巡回教師との相談
- 校長との相談
- その他
- なし

3.6. 学習障害のある生徒の家族は校外でどのようなサポートを受けていますか？

- 他の家族から
- 親の会から
- 大学の専門家から(教育・心理学)
- 大学の専門家から(医学)
- 病院の医師や専門家から
- 特殊教育センターや教育センターの特殊教育部から
- 地域の他のリソースから
- なし
- 分からない

通級指導教室の教員および特殊学級の教員(中学校)への質問紙

この調査は、学習に困難を示す生徒に焦点が当てられています。その中には、学習障害(LD)といわれる生徒も含まれます。以下、このような生徒を「学習障害のある生徒」と言うことにします。

1. 教員

1.1. 次の教室あるいは学級のどちらで教えていますか。

() 通級指導教室 () 特殊学級

1.2. その教室あるいは学級での学習指導以外の仕事は何ですか？

() 通常学級での学習指導 () カリキュラムの作成・管理など

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() 外国人・バイリンガル教育の担当 () 職業教育・移行教育の担当

() レクリエーション・課外活動・校外活動 () 事務

() 経理 () 安全管理

() その他 () なし

1.3. これまでにどの種類の学級で教えましたか？

() 通常学級 () 特殊学級

() 学習障害のある生徒を含む通常の学級

() 通級指導教室 () その他 ()

1.4. これまでに通常の教育に関する現職教育を受けましたか？

もし、「はい」なら、その内容は何か？

該当する () をチェックし、内(校内) 外(校外) を○で囲んで下さい。

<講義>

() 教育哲学

() 指導

() 学級経営

() 将来の進学や就労に向けての教育

() 他の教師との協力

() 他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力

() 親との協力

() 生徒や青年期の心理

() 生徒や青年期の医学

() その他 ()

<実習>

() 指導

() 教材の作成

() アセスメント・評価

() 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施

() 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施

() カウンセリング

() その他 ()

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

(内、外)

4.1. 学習障害のある生徒に対する家族の目標を知っていますか？

もし、「はい」なら、それは何ですか？

() 学校生活を楽しむ

() 職業教育プログラムを学習する

() たくさん友達を作る

() 労働に関する学習をする

() 教科学習を進める

() コミュニケーションスキルを身に付ける

() 社会的スキルを身に付ける

() 日常生活スキルを身に付ける

() 問題行動を改善する

() レクリエーションや余暇のスキルを身に付ける

() その他 ()

4.2. 学習障害のある生徒の将来の進路の目標を知っていますか？

もし、「はい」なら、それは何ですか？

() 大学に進学する

() その他の学校に進学する

() 短大に進学する

() 就職する

() その他 ()

5.1. 学習に障害のある生徒を指導することに困難を感じますか？

もし、「はい」なら、それは何ですか？

() 教科指導

() 特別なカリキュラムの作成

() 問題行動に関する指導

() 社会的スキルの指導

() 日常生活スキルの指導

() レクリエーションや余暇のスキルの指導

() 職業教育

() 労働に関する指導

() 特別な教材を用意したり作りたりすること

() 学級経営

() 評価

() 通常学級の教師との連携

() 通級指導教室の教師との連携

() 特殊学級教師との連携

() 他の専門家との連携(スクールカウンセラー、大学の専門家)

() 親との話し合い

() その他 ()

5.2. 学習障害のある生徒への指導は楽しいですか？

その理由を書いて下さい

(はい、いいえ)

6. その他に必要なと思われる情報がありましたらお書き下さい。

ご回答いただき、ありがとうございました。

1.5. 昨年度、通常の教育に関する現職教育を受けましたか？

もし、「はい」なら、その内容は何か？
該当する()をチェックし、内(校内) 外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

教育哲学 () (内、外)

指導 () (内、外)

学校経営 () (内、外)

将来の進学や就労に向けての教育 () (内、外)

他の教師との協力 () (内、外)

他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力 () (内、外)

親との協力 () (内、外)

生徒や青年期の心理 () (内、外)

生徒や青年期の医学 () (内、外)

その他 () (内、外)

<実習>

指導 () (内、外)

教材の作成 () (内、外)

アセスメント・評価 () (内、外)

教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施 () (内、外)

将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施 () (内、外)

その他 () (内、外)

<講義>

特別教育の哲学 () (内、外)

障害のある生徒の指導 () (内、外)

障害のある生徒を含む学級の経営 () (内、外)

障害のある生徒の移行教育 () (内、外)

他の教師との協力 () (内、外)

他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力 () (内、外)

親との協力 () (内、外)

障害の心理 () (内、外)

障害の医学 () (内、外)

その他 () (内、外)

1.6. これまでに特別教育に関する現職教育を受けましたか？
もし、「はい」なら、その内容は何か？
該当する()をチェックし、内(校内) 外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

特別教育の哲学 () (内、外)

障害のある生徒の指導 () (内、外)

障害のある生徒を含む学級の経営 () (内、外)

障害のある生徒の移行教育 () (内、外)

他の教師との協力 () (内、外)

他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力 () (内、外)

親との協力 () (内、外)

障害の心理 () (内、外)

障害の医学 () (内、外)

その他 () (内、外)

<実習>

指導 () (内、外)

教材の作成 () (内、外)

アセスメント・評価 () (内、外)

教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施 () (内、外)

将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施 () (内、外)

その他 () (内、外)

1.7. 昨年度、特別教育に関する現職教育を受けましたか？
もし、「はい」なら、その内容は何か？
該当する()をチェックし、内(校内) 外(校外)を○で囲んで下さい。

<講義>

特別教育の哲学 () (内、外)

障害のある生徒の指導 () (内、外)

障害のある生徒を含む学級の経営 () (内、外)

障害のある生徒の移行教育 () (内、外)

他の教師との協力 () (内、外)

他の専門家(スクールカウンセラーなど)との協力 () (内、外)

親との協力 () (内、外)

障害の心理 () (内、外)

障害の医学 () (内、外)

その他 () (内、外)

2. 学 級

2.1. 担当学年は何ですか？ _____ 年生

2.2. 生徒は何人ですか？ _____ 人

2.3. 学級の教師の数は何人ですか？ 常勤の教師 _____ 人 非常勤の教師 _____ 人

2.4. 学級には他の人(教師など)がいますか(月単位で)？
もし、「はい」なら、その内容は何か？
該当する()をチェックし、常(常勤) 非(非常勤)を○で囲んで下さい。

() 別の教師 () 常、非

() スクールカウンセラー () 常、非

() スクールカウンセラー () 常、非

() 指導に関わるボランティア () 常、非

() 他の仕事に関するボランティア () 常、非

() 指導のための親 () 常、非

() 他の仕事のための親 () 常、非

() その他 () 常、非

2.5. 学級には学習障害のある生徒がいますか？
もし、「はい」なら、
そのような生徒は何人いますか？ _____ 人

そのための特別な教育(特殊教育)は何ですか？
() 読む () 数学 () 日常生活スキル () 常、非

() 書く () 推論 () 移行(進学・就職・進路) () 常、非

() 話す () 他の教科 () 行動・情緒 () 常、非

() 聞く () 社会的スキル () その他 () 常、非

2.6. 学級には将来に向けての教育プログラムがありますか？ (はい、いいえ)

もし、「はい」なら、それは何に向けてのプログラムですか？
() 通常の学級に向けて () 他のタイプの学校に向けて () 常、非

() 通級指導教室に向けて () 仕事に向けて () 常、非

() 普通高校に向けて () その他 () 常、非

() 職業高校・職業学校に向けて () 常、非

() 社会的スキルトレーニング () 日常生活スキルトレーニング () 内、外

() レクリエーション・余暇プログラム () 内、外

() 職業訓練プログラム () 内、外

() 労働プログラム () 内、外

() その他 () 内、外

その内容は何か？ そして、内(校内) 外(校外)に○を付けて下さい。

3.1. 学習障害のある生徒は校内で特別な援助を受けていますか？

- 教師から (通常の学級)
- 友達から (通常の学級)
- 友達から (通級指導教室)
- 教師から (通級指導教室)
- 特別に用意されたカリキュラムから
- 教科学習や行動面に関する個別の教育計画
- 教師から (特殊学級)
- 友達から (特殊学級)
- 特別に用意された教材から
- その他の特別なセツチングから
- 巡回教師から
- 校長から
- 保健室の看護教師から

3.2. 学習障害のある生徒は地域で特別な援助を受けていますか？

- 訓練センター・訓練プログラムから
- カウンセリングセンターから
- 大学のカウンセリング・訓練などから
- その他のリソースから
- なし

3.3. あなたは校内でどのようなサポートを受けていますか？

- 通常の学級の教師から
 - 保健室の教師から
 - スクールカウンセラーから
 - その他の人から
 - なし
- <あなたの学校で>
- 校長から
 - 巡回教師から
 - 特殊学級の教師から
 - その他の人から
 - なし
- <他の学校で>
- 他の高校から
 - 盲学校・聾学校・養護学校から
 - 中学校から
 - 小学校から
 - 幼稚園や保育園から

3.4. あなたは校外でどのようなサポートを受けていますか？

- 市や区の教育委員会から (例：現職教育)
- 都道府県の教育委員会から (例：現職教育)
- 教員組合から
- 学術学会から (例：日本特殊教育学会、日本学習障害学会など)
- 特殊教育センターや教育センターの特殊教育部から
- 大学や研究機関から
- 病院から
- その他の機関や専門家から
- なし

3.5. 学習障害のある生徒の家族は校内でどのようなサポートを受けていますか？

- 教師との相談 (通常の学級)
- 保健室の教師との相談
- 教師との相談 (通級指導教室)
- スクールカウンセラーとの相談
- 教師との相談 (特殊学級)
- その他の人との相談
- なし
- 巡回教師との相談
- 校長との相談
- 分からない

3.6. 学習障害のある生徒の家族は校外でどのようなサポートを受けていますか？

- 他の家族から
- 親の会から
- 大学の専門家から (教育・心理学)
- 大学の専門家から (医学)
- 病院の医師や専門家から
- 特殊教育センターや教育センターの特殊教育部から
- 地域のその他のリソースから
- なし
- 分からない

4.1. 学習障害のある生徒に対する家族の目標を知っていますか？

- 学校生活を楽しむ
- 職業教育プログラムを学習する
- たくさん友達を作る
- 労働に関する学習をする
- 教科学習を進める
- 社会的スキルを身に付ける
- 人間関係のあり方を身に付ける
- コミュニケーションスキルを身に付ける
- 日常生活スキルを身に付ける
- レクリエーションや余暇のスキルを身に付ける
- その他

4.2. 学習障害のある生徒の将来の進路の目標を知っていますか？

- 普通科高校に進学する
- 職業高校に進学する
- 養護学校に進学する
- その他
- なし

5. 指導

5.1. 学習に障害のある生徒を指導することに困難を感じますか？

- 教科学習や行動面に関する個別の教育計画の作成・実施
- 将来の進学や就労に向けての個別の教育計画の作成・実施
- 特別なカリキュラムの作成
- 教科指導
- コミュニケーションスキルの指導
- 問題行動に関する指導
- 社会的スキルの指導
- 日常生活スキルの指導
- レクリエーションや余暇のスキルの指導
- 職業教育
- 労働に関する指導
- 特別な教材を用意したり作りたりすること
- 学級経営
- 評価
- 通常学級の教師との連携
- 通級指導教室の教師との連携
- 特殊学級教師との連携
- 他の専門家との連携 (スクールカウンセラー、大学の専門家)
- 親との話し合い
- その他

もし、「はい」なら、それは何ですか？

- はい、いいえ
- なし

5.2. 学習障害のある生徒への指導は楽しいですか？

- はい、いいえ
- なし

6. その他に必要なと思われる情報がありましたらお書き下さい。

ご返信いただき、ありがとうございました。